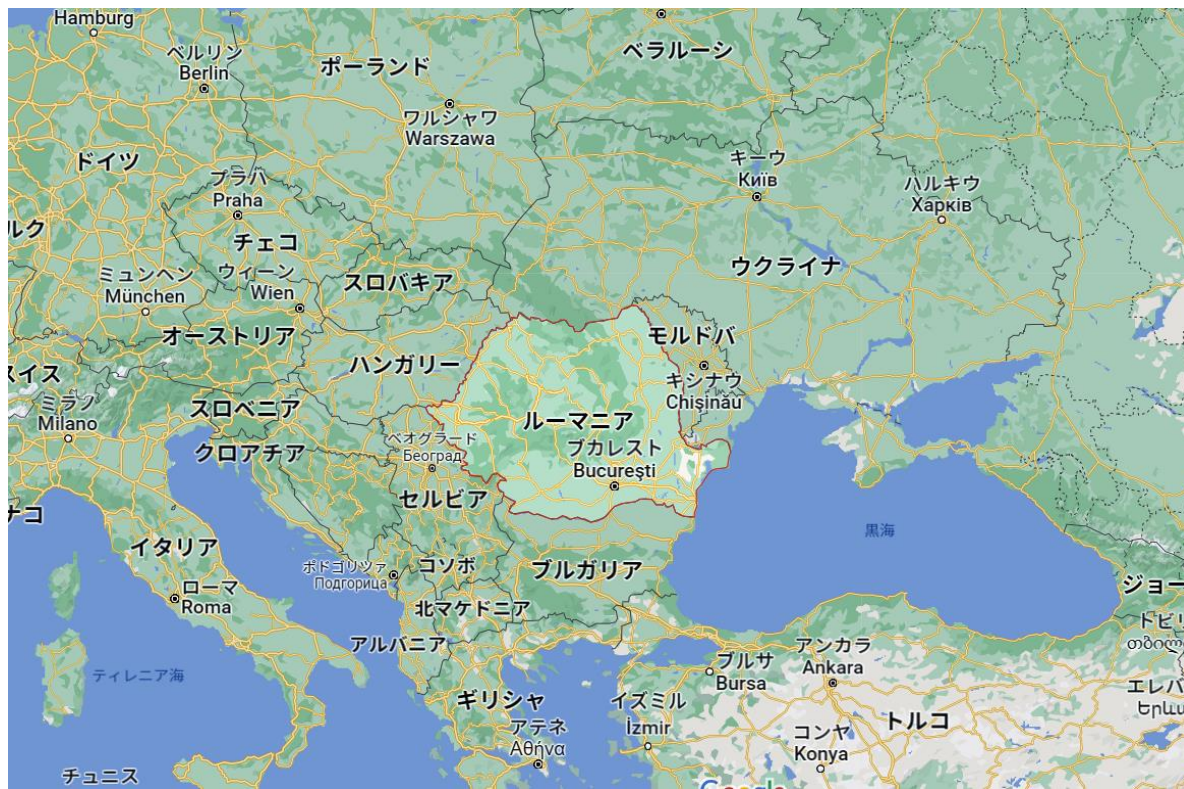


インターネット世界旅行
2022/8/24 (水)

ルーマニア



案内先

1. ブラン／ブラン城
2. ブカレスト／国民の館
3. シナイア／ペレシュ城
4. シギショアラ
5. シビウ
6. バルサナ修道院
7. ブラショフ
8. シビウ
9. バルサナ修道院
10. ルージュ-ナポカ
11. ヤシ

吉岡 芳夫

ルーマニアは、多種多様な民族によって形成された国家

- 住民は、紀元前からこの地方に住んでいたトラキア系のダキア人と、2世紀頃にこの地方を征服した古代ローマ人、7世紀から8世紀頃に侵入したスラブ人、9世紀から10世紀に侵入したマジヤール人、その他にトルコ人、ゲルマン人などの混血や同化によって形成された複合民族。
- 言語的には公用語がラテン語起源のルーマニア語で、宗教的には東方教会系のルーマニア正教会が多数派である。
- それに対し、ポーランドのほうは同じ「東欧」と言っても、言語的にはスラヴ語派に属するポーランド語が主に話されており、宗教的には西方教会のカトリック教会が支配的である。

国内総生産（GDP）

- ルーマニアの2013年の国内総生産（GDP）は約1,889億ドルである。
- 2016年の1人あたりの名目GDPは1万1,859ドルで、世界平均より少し高い程度だが、バルカン半島の旧社会主義国ではクロアチアに次いで高い。
- ルーマニアは伝統的に農業国であり、第一次産業人口が人口の42.3%を占める（2001年）。
- 一方で、社会主義時代に計画経済のもと工業化が進められた結果、2014年現在では鉄鋼やアルミニウム、繊維産業といった業種も主要産業となっている。
- そのほか、17世紀から続くモレニ油田が知られるように、ルーマニアは産油国であるが、今日ではその規模は限られている。

ブラン城／ブラン



ルーマニア南部のトランシルバニア地方にある「ブラン城」は、吸血鬼ドラキュラの居城のモデルとなった場所です。

また、ルーマニア国王だったフェルディナント1世の寝室も残されています。

城は1377年にドイツ商人によりごつごつとした岩場の上に建てられ、堂々としたたたずまい。城からの眺めは格別で、まるで中世にタイムスリップしたよう。

ブラン城 - Google マップ



ブラン城 - Google マップ



ブカレスト 国民の館



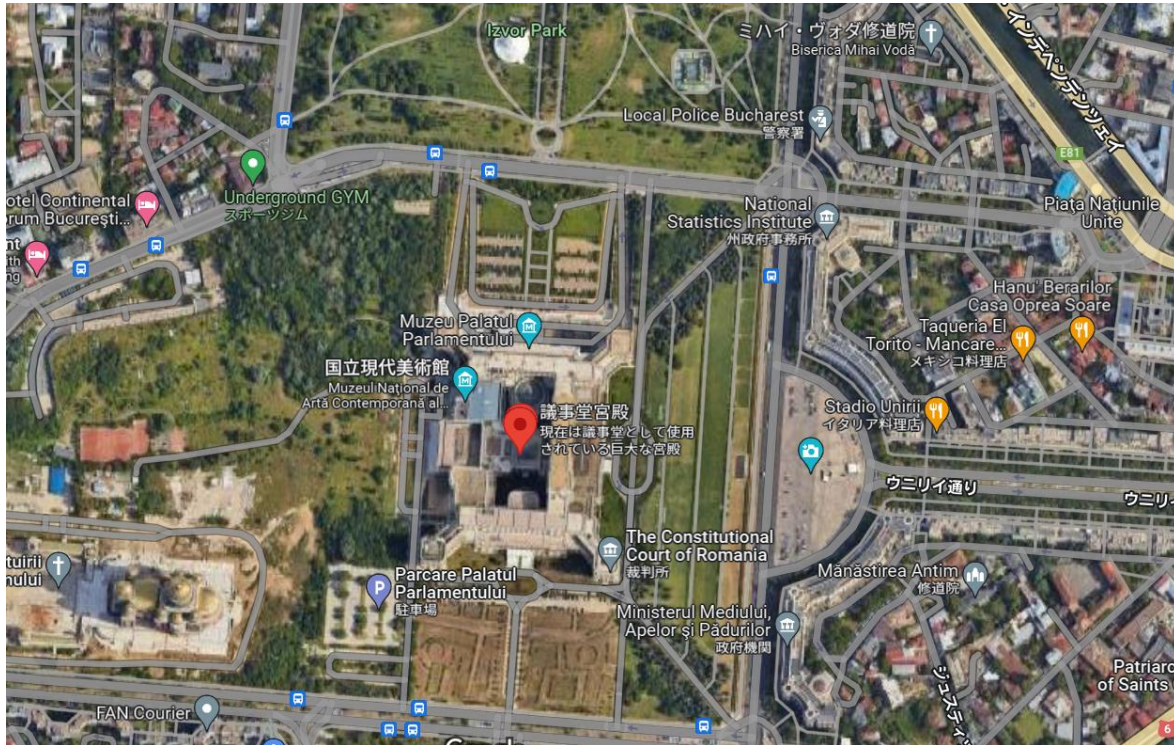
首都ブカレストにある「国民の館」は世界で2番目に広い建築物です。

延床面積はなんと33万平方メートル！しかしながら現在も完成しておらず、一部で工事が続けられています。カメラに収まりきれない広さです。

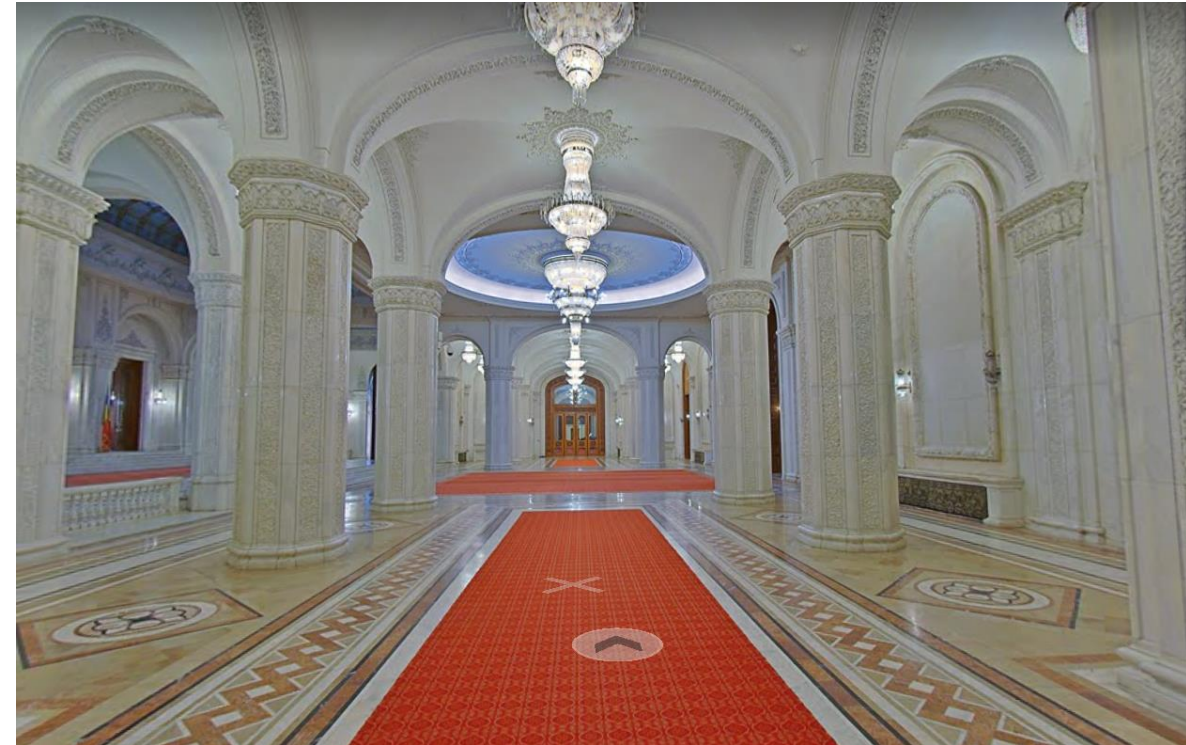
共産主義時代の独裁者、チャウシェスク大統領の遺産として知られており、現在は国会議事堂や政党の事務所、美術館などが入っています。

国民の館／ブカレスト

議事堂宮殿 - Google マップ



国立現代美術館 - Google マップ



宮殿の中はきれい。
会議室もきれい。

シナイア

ペレシュ城

[Florian Dima - Google マップ](#)



カルロ1世の夏の住居として、1875年から8年もの歳月を経て建てられました。ドイツ・ルネサンス様式の宮殿で、現在は博物館としてカルロ1世が集めた彫刻品や絵画、家具、武器、金銀などが展示されています。

部屋は160室もあり、大変広いのも特徴です。内装は木材が使われるなど時代を感じさせる雰囲気ですが、豪華な装飾や絨毯などが使われ、きらびやかとなっています。 8



シナイア渓谷に建つ「ペレシュ城」は、周囲の大自然と見事に調和した壮麗な建築物。

城の前の見事な庭園には数多くの彫刻が並び、その一つ一つが個性ある姿で見とれてしまうことでしょう。

城のそばにある広場には、かわいらしい建物のレストランやカフェが集まります。

周囲の景観を楽しみながら一息つくのにうってつけの場所です。

シギショアラ

[シギショアラ - Google マップ](#)



「シギショアラ」はルーマニアの宝石と称えられることもある世界遺産の街。石畳の道が続く旧市街にあるのは中世から変わらない風景。かつてこの地に住んでいたドイツ系のザクセン人によって繁栄した街です。

また、旧市街には吸血鬼ドラキュラのモデルとなったウラド3世の生家が残っています。現在はレストランとして利用されており、食事をとることもできます。ブラン城とあわせて訪れておきたい街です。

五つの修道院／ブコヴィナ地方



ルーマニア北東部、ブコヴィナ地方に点在する「五つの修道院」。

修道院の外壁は美しいフレスコ画で覆われ、思わず目を奪われます。

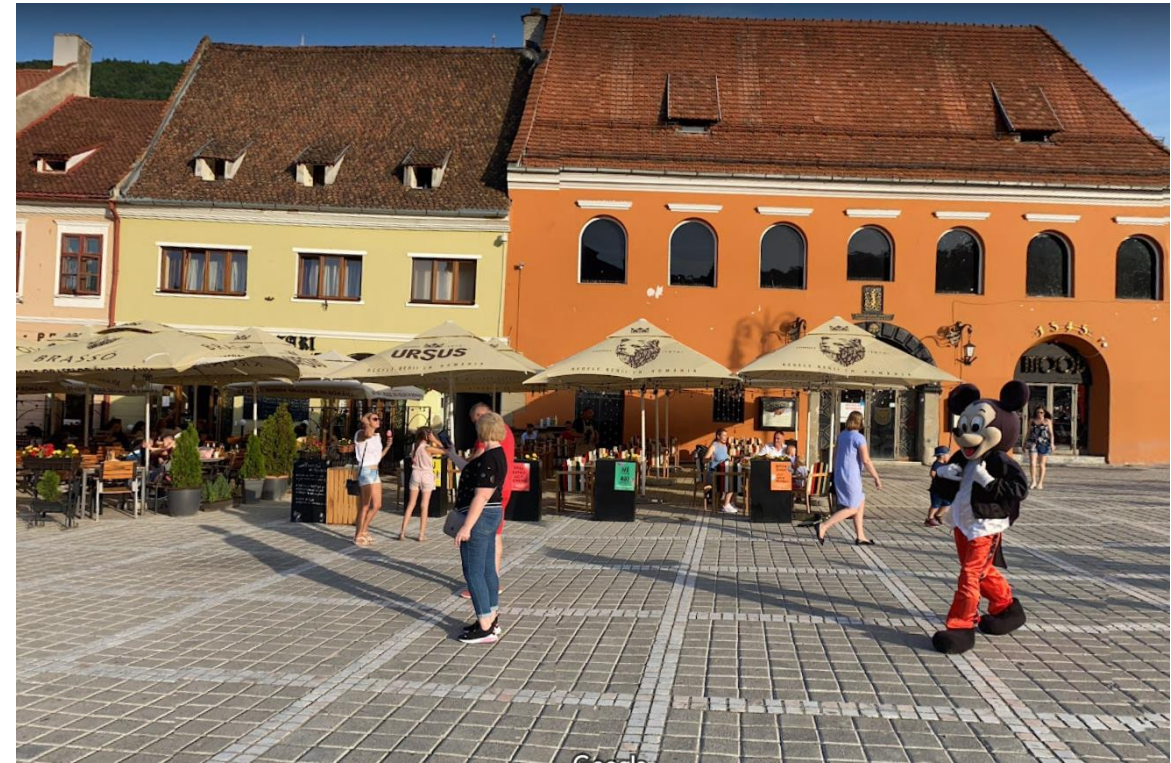
その美しさと中世からの歴史が評価され、世界遺産にも登録されました。

なかでもひととき美しいといわれるモルドヴィッツァ修道院は1532年に建てられ、建物の一角に戦闘場面が描かれています。

[【ルーマニア】完璧な中世の街並みが残るブラショフ観光。絶景だらけの旧市街へ。 | Ça voir! - さぼわーる - \(ca-voir.com\)](#)

ブラショフ市は首都ブカレストに次ぐ観光都市です。中世の街並みを残す町で、ドイツ人、ルーマニア人、ハンガリー人の3つの民族によって発展してきました。古いサクソン建築と城跡が特徴的です。またブラショフは東京都武蔵野市と姉妹都市でもあり、市内にある「日本武蔵野センター」では、日本語教室や日本文化を紹介するイベントが開かれています。

[The Council Square - Google マップ](#)



シビウの可愛い街並み



シビウ旧市街は、アッパータウンとロウアータウンという2つのエリアがある。

美しい建物に囲まれた大広場と小広場があるのは、アッパータウン。

広場から続く道沿いには、レストランやカフェがずらりと並び、観光客で賑わっています。

治安も良いので、夜遅くまで旧市街散策を楽しむことができます。

バルサナ修道院

[Bârsana Monastery - Google マップ](#)



[Bârsana Monastery - Google マップ](#)

伝統的な家屋で昔ながらの生活が続くマラムレシュ地方。この地方に点在する木造聖堂群のうち、代表的な8つの聖堂が世界遺産に登録されています。

バルサナ村にある「バルサナ修道院」の建物はすべてモミの木でできており、基盤の石や金属の釘は使われていません。周囲の美しい自然ともマッチしており、心おだやかになる風景です。

中世時代のロマンを体験！クルジュ＝ナポカ観光 でルーマニアの歴史探索の旅



ルーマニア第3の都市

ルーマニア北西部トランシルヴァニア地方の中心的な都市で、ブカレスト、ヤシに続いて国内第3位の人口を擁しています。街の起源はこの地方ではもっとも古く、ローマ帝国時代には大規模な植民地として存在し、中世には街道が交差する物流の要衝として繁栄しました。

[ルーマニアのヤシ観光!!特に見所がない街の方が居心地が良いのです\[ヤシの安宿情報有\] | 旅やねん。\(ason-de-kurasu.com\)](#)



ルーマニア第2の都市 ヤシ

ヤシの大虐殺は、ルーマニアのヤシで1941年6月29日から7月6日にかけて行われたポグロムである。イオン・アントネスク元帥の指揮するルーマニア政府軍が行った虐殺で、ユダヤ人人口の3分の1にあたる13,266人以上が殺害されたほか、多数が国外に追放された。

終わり